

功労者の表彰も

県歴史資料保存協

創立40周年で総会

県内の郷土史研究者らでつくる県歴史資料保存協会の創立四十周年の記念総会が、岐阜市宇佐の県図書館で開かれた。長年にわたり同協会の古文書読解講座で講師を務めるなどした北野興策さん(七九)、林格男さん(八三)、小栗明朗さん(七七)を表彰し写真。代表して北野さんが「これからも歴史資料の保存や古文書の読解で精進していきたい」とあいさつした。役員改選もあり、顧問に丸山幸



太郎会長(七〇)、会長に小川敏雄副会長(七〇)を選んだ。任期は二年。

同協会は一九七四年(昭和四十九)年、市町村史編纂研究連絡協議会として発足し、七九年に改称。県歴史資料館と連携して資料を収集する活動などに取り組んでいる。

(磯部旭弘)

「平成26年5月21日中日新聞より」